

今後の計画

本プロジェクトは、「Family Work」の日本での普及を目的としています。そのため、今後数年をかけて家族支援の必要性についての理解を促進し、専門職の皆さんに家族支援技術を身につけていただくための研修会を開催していきます。最新情報については、<http://seishinhoken.jp/meriden> に随時掲載いたします。なお、メールマガジンも配信しています。ぜひご登録（無料）ください！

全国精神保健福祉会連合会(みんなねっと)主催

日本

英国・Birmingham
Meriden Family Programme

2013年度

東京・京都で講演会
(専門職への関心の喚起を目的に開催)

2014年度

基礎ワークショップ開催
(英語の堪能な者限定)

FamilyWorkの実践例をSkype
等でスーパーバイズを受けた後

2015年度

基礎ワークショップ開催
(英語の堪能な者限定)

英国Birminghamへ派遣
トレーナーズ養成研修受講

FamilyWorkの実践例をSkype
等でスーパーバイズを受けた後

2016年度

日本人トレーナーズによる
基礎ワークショップ

英国Birminghamへ派遣
トレーナーズ養成研修受講

2017年度以降、日本人トレーナーズにより、基礎ワークショップを全国で開催

訪問家族支援の普及について、応援ください!!

本プロジェクトは本人や家族はもちろん、専門職や関係支援者などさまざまな方々との協同なくして実現することはできません。より多くの皆さまに本プロジェクトをご理解いただき、応援していただきたいと考えています。

「本人・家族を共に支える家族支援を応援します!!」という方はどなたでも構いません。ぜひ、実現に向けた仲間の一人として、ご賛同くださいますよう、お願いいたします。

詳細はホームページ <http://www.seishinhoken.jp> をご覧ください。

ご寄付のお願い (みんなねっとメリデン募金)

本プロジェクト実施には多くの費用を必要とし、当会の財政基盤だけでは実施が困難な状況です。皆さまのお気持ちを寄付金に託して、ご支援、ご協力くださいますようお願いいたします。

銀行口座

三井住友銀行 池袋東口支店

普通 8729724

名義 みんなねっとメリデン募金

郵便局 (ゆうちょ銀行)

口座番号 00180-1-513048

名義 みんなねっとメリデン募金

「英国メリデン版訪問家族支援」
普及プロジェクト

MERIDEN

“Nothing About Us Without Us”

私たちのことを、私たち抜きに決めないで

～私たちが求める家族支援～

本人・家族を共に支える 「家族支援」技術を学び 広げていきませんか

「英国メリデン版家族支援」技術を日本に普及し、
本人や家族が共に支えられる社会の実現を

FAMILY

PROGRAMME

お問い合わせ先

笑って、語って、つながって

みんな
ねっと

精神障がい者家族の会

公益社団法人 全国精神保健福祉会連合会 (みんなねっと)

〒170-0013 東京都豊島区東池袋 1-46-13 ホリグチビル602

tel:03-6907-9211 fax:03-3987-5466

<http://www.seishinhoken.jp>

本プロジェクトについて

公益社団法人 全国精神保健福祉会連合会（みんなねっと）とは、精神障害者家族会の全国団体です。

みんなねっとでは設立以来、「家族支援」の実現のために様々な取り組みをおこなってきました。そのひとつが、2009年に全国の家族会員を対象に実施した、家族支援に関する調査です。

調査の中で見えてきたのは、「病状が悪化したときに必要な支援がない」「困ったときに相談できるところがない」「必要な知識や情報が得られない」という、孤軍奮闘する家族の姿でした。今なお、家族は「支援者」として終わりのない役割を引き受けています。

調査結果からまとめた「わたしたち家族の7つの提言」では「訪問型のサービス」や「家族に対する適切な情報提供」など、家族支援を具現化するための切実な声があげられています。そのような中、私たちは英国バーミンガムのメリデン地方で「Family Work」という家族支援技術が開発され、実践されていることを知りました。この「Family Work」で提供される支援は、まさに私たちが求め続けてきた「個々の家族に対する」「訪問による」「本人も含めた家族全体への支援」でした。

近年、家族支援が重要視されるようになってきましたが、現在の家族支援は「支援者としての家族」に対する支援が中心です。しかし、私たち自身も地域で“普通に暮らす”ために支援を必要としているのです。待っていてもこの状況は変わりません。それならば、私たちが本当に求める家族支援システムを自分たちの手で広げていこう！と決心しました。

“Nothing About Us Without Us”（私たちのことを、私たち抜きに決めないで）日本での家族支援を実現するために、私たちは本プロジェクトに取り組みます。

●対象者

医療福祉専門職(精神科医、看護師、作業療法士、精神保健福祉士、臨床心理士等)、行政等関係支援者、家族、本人

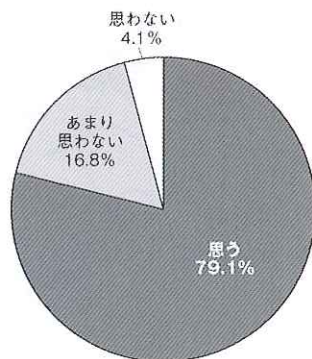
●協力団体（予定・順不同）

日本精神科病院協会 日本精神神経科診療所協会 日本精神科看護技術協会 日本作業療法士協会 日本精神保健福祉士協会 全国精神障害者団体連合会 日本臨床心理士会 ACT 全国ネットワーク 日本相談支援専門員協会ほか

（有効回答数4419名/回収率48.3%）
問46 治療の中断や病状が悪化したときに必要なこと



問27 家族に対する相談支援は特定の家族だけではなく、家族全員に対して必要だと思うか



英国メリデン版家族支援について

Meriden Family Programme とは

Meriden Family Programme とは、英国ウエストミッドランドにあるメリデン（Meriden）という地名にちなんでつけられた精神障害者（児童青年期や高齢期を含む）の家族支援技術の研修機関で、Birmingham and Solihull Mental Health Foundation NHS Trust 内（国民医療保健サービス：National Health Service）の一部門です。

1998年より家族支援プログラムの開発と支援者の訓練をおこなってきており、基礎研修修了者4120名、トレーナー研修修了者247名（2011年現在）と英国で最も多くの研修修了者を輩出している世界でも有数の家族支援に関する研修機関です。

Family Work の内容

Family Work はこの Meriden Family Programme によってトレーニングされている家族支援技術です。特徴的なのはこの家族支援技術の目標で①個別に、主に訪問によって長期間にわたって本人と家族を支援し続ける、②本人と家族がいずれ自分たちの力で困難を乗り越えていけるように効果的な問題解決や目標達成ができる技術習得の機会を提供する、③精神障害者本人を含めた家族がそれぞれの生活を自分らしく生きることとし、本人と家族と共に支援する「Work with Families」を大切にしています。専門的には、行動療法的家族療法（BFT：Behavioural Family Therapy）といわれるものが原型で①病気や治療・社会資源などの情報について本人と家族と共に学ぶ、②ポジティブなコミュニケーションのあり方を練習し実践する、③家族の中で話し合いがうまくできるよう練習をする、④再発のサインを本人と家族とで共有しサインが出たときにどう回避するかを相談しておくなどを、訪問をしたスタッフが本人と家族を交えて、話し合いながらおこなうものです。しかも、この方法は家族一人ひとりの現状やニーズを踏まえて本人と家族と相談しながら進めます。また、この方法は家族全員で参加することが最も効果的ですが、この支援を受けてみたい人が家族の中にひとりでもいれば、まずひとりからでも始められる方法です。

Family Work における効果（エビデンスについて）

この Family Work については、支持的個人療法(医師等のカウンセリング)を受けている者を対照群とした場合、開始9カ月後の再発率が、Family Work 実施群6%と対照群44%より有意に低く、さらに月1回の家族のフォローアップを続け2年後に調査したところ、家族介入群17%と対照群83%と再発予防効果は2年後にも維持される結果でした。これらの研究成果から、イギリスの王立医療評価機構 NICE 統合失調症ガイドラインにおいても、Family Work をはじめとする一家族単位で本人も交えながら何年にもわたり個別的に支援する密度の濃い家族支援（Family Intervention）は、代表的な EBP（Evidence-based practice）プログラムの一つとされており、イギリスの精神保健医療福祉の標準的な支援の一つとなっています。

